

★左の方へ～解答欄の ①～⑥ は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

① (1) **ウ、オ**
(完全解答)

0は、整数に含まれますが、自然数には含まれません。

(2) **イ**

今日の水位が1週間前の水位からどれだけ高くなったかを求めるときは、1週間前の水位を基準として、
(今日の水位) - (1週間前の水位)
という式をつくります。

(3) **-18**

(4) **6、-6**

(5) **ア**

【負の数】×【負の数】、【負の数】÷【負の数】は、計算の結果が必ず正の数になりますが、
【負の数】-【負の数】は、引かれる数と引く数の絶対値の大小により、計算の結果が正の数や0になることがあります。

② **ウ、エ**

(完全解答)

【正しい計算結果】

<p>ア</p> $\begin{aligned} & 3 - 5 + 2 \\ & = 3 + 2 - 5 \\ & = 5 - 5 \\ & = 0 \end{aligned}$	<p>イ</p> $\begin{aligned} & -24 \div 3 \times 2 \\ & = -24 \times \frac{1}{3} \times 2 \\ & = -16 \end{aligned}$	<p>オ</p> $\begin{aligned} & 1 + (3 - 6) \times 2 \\ & = 1 + (-3) \times 2 \\ & = 1 - 6 \\ & = -5 \end{aligned}$
--	---	--

③ (1) **数量 (例)**
・ 走った道のりと歩いた道のりの合計
・ 家から駅までの道のり

単位
m

(2) **数量 (例)**
・ 走った時間と歩いた時間の合計
・ 家から駅まで行くのにかった時間

単位
分

④ **説明 (例)**
-2xのxに-3を代入するとき、
-2×(-3)としていない。

正しい値
11

「5-2-3」、「-2-3」など、間違っている部分を示していれば正答です。

⑤ **(例)**
余剰電力の合計を求めて、それが正の数なら電気代がかかっていないこと、負の数なら電気代がかかっていることが分かる。

余剰電力の合計を求めること、その結果が正の数か負の数かで判断することを書いていれば正答です。

⑥ **a**

理由
(例) aが-5のとき、cは6となり、
-b×cが負の数になり、計算の結果は、負の数+負の数で、負の数になる。
また、cが-5のとき、aは6となり、
-b×cが正の数になり、計算の結果は、正の数+正の数で、正の数になる。
よって、a-b×cの計算結果が最も小さくなるのは、aが-5のときだから。

-b×cが負の数になることや、負の数+負の数が負の数になることを捉えて、-5がaであることを書いていれば正答です。
なお、実際に計算して比べた場合も正答です。